

教務ガイダンス

芸術学部1年次



教務部

アンケート

1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

- ① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A screenshot of a smartphone displaying a survey form. The title is "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). Below the title, it says "匿名で返信します。" (Anonymous reply). There is a red asterisk indicating a required field: "1. 学籍番号*" (1. Student ID*). Below this is a text input field with the placeholder "回答を入力してください" (Please enter your answer). At the bottom of the form is a green button labeled "送信" (Send). At the very bottom, there is a small disclaimer: "このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記載しないでください。" (This content is created by the owner of the form. The data you send will be sent to the owner of the form. Do not include passwords.)

配布資料

◎ 配布資料一覧 ※本日配布している資料含む

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ
25. CAMPUS MAP

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制（原則）	2学期制（前学期・後学期）
授業時間	50分	100分
授業時間割 （履修）	指定されている （クラス共通）	自分自身で 選択 する
クラス制及び クラス担任	あり （1クラス10～20人程度）	あり （ゼミナール科目の担当教員）
教室	指定されている （クラス共通）	選択した授業科目によって 異なる （授業科目ごとに指定）
卒業要件	学年制（原則）	単位制 （124単位以上） 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学年暦

前学期

後学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

授業開始日

4/8～全14回

9/15～全14回

補講日

4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,
6/25,7/9,7/23

9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,
12/17,1/11,1/12

定期試験

7/25～7/30

1/16～1/21

祝日授業実施日

7/18

9/19,9/23,11/23

成績公開日

8/30

3/10

休業開始日

夏季休業 7/31～

冬季休業 12/27～

K's Life (ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト
※毎日確認すること

時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

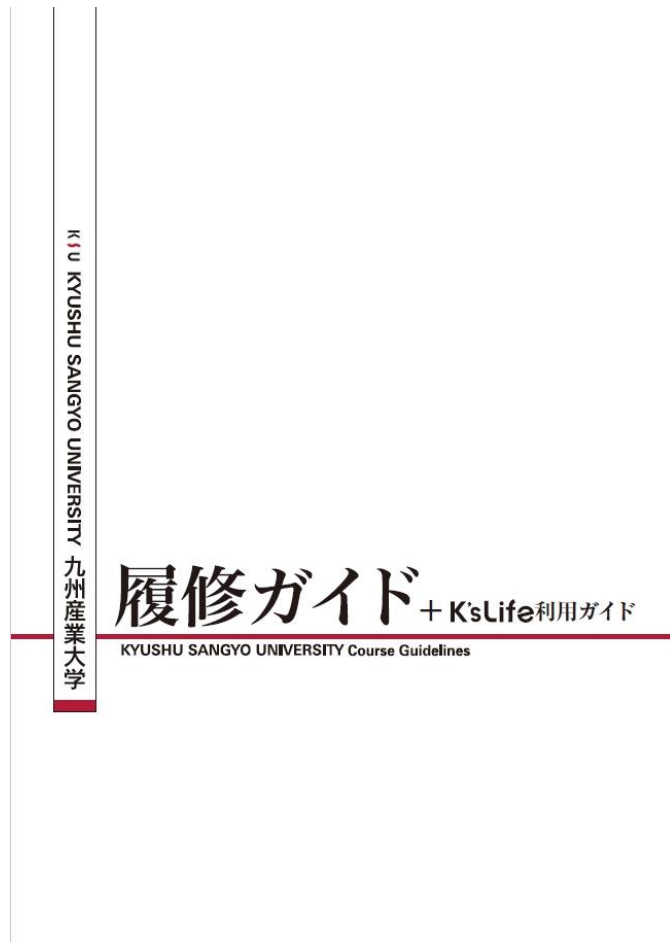
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊夫 古賀 初生 雲 俊徳 末松 剛 山下 永子 小池 高史 高山 和章 田代 雅彦 基橋 誠 大万 愛子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊后 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義章	N 3 0 2 教章	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を理解し、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度) 事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C) 60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義章は準常指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教章のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載
K'sLifeで閲覧可能

※シラバスを確認の上で
履修登録すること

出席

入室登録	授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで
退室登録	授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす **時間帯** には注意すること。

休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.67に記載。
卒業までに**124単位以上**必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

教育課程

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

卒業 (124単位以上)

卒業要件 【選択必修・選択科目について】

芸術学部履修規程第2条：卒業要件

授業科目区分	授業科目及び単位数	
専門科目	必修科目	56単位
	選択必修科目	18単位以上
	選択科目	26単位以上
基礎教育科目		18単位以上
外国語科目		英語6単位以上
合計		124単位以上

卒業要件【専門科目について】

年次別授業科目配当表

芸術学部 芸術表現学科 絵画専攻		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
区分	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
必修 科目	絵画概論	2							
	西洋美術史	2							
	東洋美術史	2							
	日本美術史	2							
	芸術表現演習	2	絵画Ⅰ	4	絵画Ⅱ	4	卒業研究Ⅰ	4	
			絵画Ⅱ	4	絵画Ⅳ	4	卒業研究Ⅱ	4	
	デッサン	2	材料実習	2	絵画表現実習Ⅳ	4	絵画表現実習Ⅴ	4	
	日本画基礎	2					絵画表現実習Ⅵ	4	
	版画基礎	2							
	洋画基礎	2							
選択 必修 科目	講義				西洋絵画史	2			
	演習								
	工芸デザイン基礎演習	2	キャリア開発演習A	2					
	塑造演習	2	写真演習	2					
	デッサン実習	2	ドローイング基礎実習	2	ドローイング実習	2			
	日本画実習	2	絵画表現実習Ⅰ	4	絵画表現実習Ⅲ	4			
	平面構成	2	絵画表現実習Ⅱ	4					
	立体構成	2	版画基礎実習	2					
			版画実習	2					
	講義								
選択 科目	メディア芸術概論	2	アニメーション芸術論	2	マンガ芸術論	2			
	色彩学	2	サウンド芸術概論	2					
	美術概論	2	映像芸術表現論	2					
	立体造形概論	2	現代美術論	2					
			工芸史	2					
			工芸デザイン概論	2					
			美術解剖学	2					
	演習								
	QUEST演習A	2	QUEST演習B	2	QUEST演習C	2			
	コンピュータ基礎演習	2	インターンシップ	2	キャリア開発演習B	2			
デッサン基礎演習	2	サウンドアート演習	2	キャリア開発演習C	2				
絵画演習	2	字外演習	2	フィギュア演習Ⅱ	2				
図学製図基礎演習	2	現代美術演習	2	プロダクトデザイン基礎演習	2				
				ミクストメディア演習	2				
グラフィックデザイン	2	キャラクターオブジェ基礎実習	2	インスタレーション実習	2				
デジタルペイント	2	モザイク	2						
ベシックモーション	2								

〈専門科目〉

年次別授業科目配当表（専攻別）

4年間で履修できる専門科目が
全て記載されている。

1年生は「第1年次」の配当科目が履修可能。

2年生になったら「第1年次」と
「第2年次」の配当科目が履修可能になる。

《卒業するまでに必要な単位数》

* 必修科目 **56単位**

△ 選択必修科目 **18単位以上**

□ 選択科目 **26単位以上**

卒業要件【基礎教育科目・外国語科目について】

年次別授業科目配当表

芸術学部 全専攻共通

区分	第1年次 授業科目(単位)	第2年次 授業科目(単位)	第3年次 授業科目(単位)	第4年次 授業科目(単位)	
基礎教育科目	科目導入 大学スタディスキル (2)				
	科目 学修基礎	実用国語Ⅰ(文章力) (2)	実用国語Ⅱ(伝達力) (2)		
		実用数学Ⅰ(計算力) (2)	実用数学Ⅱ(活用力) (2)		
	キャリア 科目	A1導入 (2)	プログラミング導入 データリテラシー (2)		
		キャリア形成基礎論 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)	
		主催者リテラシー (2)	消費者リテラシー (2)	九条大力 (2)	
		学生サポート (2)	学生ボランティア入門 (2)		
	文理 志願 科目	実践タロス講座 (2)		インタラクティブディスカッション (2)	
		実践タロス演習 (2)	実践力育成演習 (2)	課題解決演習 (2)	教養講座 (2)
	教 育 科 目	実践コロボ講座 (2)	実践コロボ演習 (2)		
日本の歴史 (2)		世界の歴史 (2)	哲学の世界 (2)	文学の世界 (2)	
日 科 目	心理学の世界 (2)	文化人類学 (2)	美学・美術史 (2)	芸術の世界 (2)	
	人文科学の世界 (2)	法学 (2)	日本国憲法 (2)	現代の政治 (2)	
社会 科 学 科 目	地理の世界 (2)	人権・国際問題 (2)	ジェンダーと社会 (2)	社会科学の世界 (2)	
	科学の世界 (2)	地球環境 (2)	生物の世界 (2)	くらしの中の数学 (2)	
自然 科 学 科 目	自然科学の世界 (2)	スポーツ科学演習 (2)	心と身体の特徴 (2)		
	英語	Speaking & Writing I (1) Reading & Writing I (1) Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1)	English Plus (1) English Expressions (2)	Four Skills I (2) Four Skills II (2) Reading Focus (2) Writing Focus (2) Business English (2) English Pronunciation (2) Introduction to Translation (2) Global Perspectives (2)	

〈基礎教育科目・外国語科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる基礎教育科目と外国語科目が
全て記載されている。

《卒業するまでに必要な単位数》

基礎教育科目 18単位以上

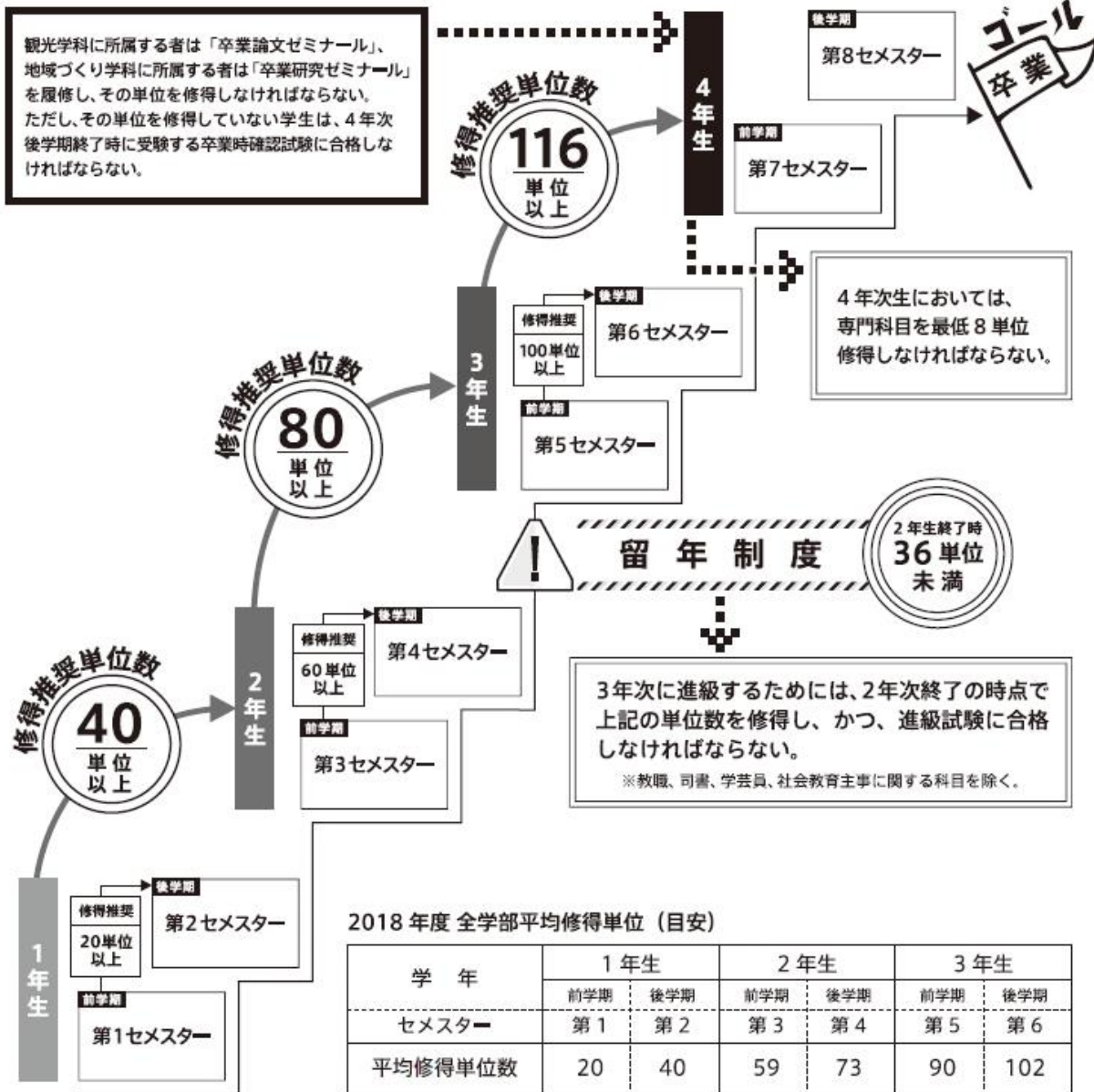
《卒業するまでに必要な単位数》

英語 6単位以上

区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
外国 語 科 目	TOEIC Plus (2)	TOEIC Plus (2)		
	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1) ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1) ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1) ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1) ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)
初 修 外 国 語 科 目	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1) フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1) フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1) フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1) フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)
	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1) 韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1) 韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1) 韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1) 韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)
日 本 語	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)
	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)	アカデミック日本語Ⅰ (1) アカデミック日本語Ⅱ (1) アカデミック日本語Ⅲ (1) アカデミック日本語Ⅳ (1)
開 学 生 に 対 し て	日本の歴史Ⅰ (2) 日本の歴史Ⅱ (2) 日本の文化Ⅰ (2) 日本の文化Ⅱ (2)	日本の政治経済Ⅰ (2) 日本の政治経済Ⅱ (2) 一般日本事情Ⅰ (2) 一般日本事情Ⅱ (2)		

※「タロス科目」は、各学部の学生が交差（タロス）して取り組む授業科目を指す。
※「コロボ科目」は、各学部の教員が協働（コロボレーション）して実施する授業科目を指す。

卒業要件【修得推奨単位について】



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「セメスター制」という。
1年間に2セメスター実施。

卒業要件 【履修制限について】

芸術学部履修規程第8条：履修制限

- 1年間で履修できる上限単位数

44単位

- 半期で履修できる上限単位数

28単位

※集中講義科目は履修上限には含まれません。

前年度までのGPAが3.0以上の者は、年間48単位まで履修可能。

卒業要件 【履修制限について】

入学から卒業までの履修制限



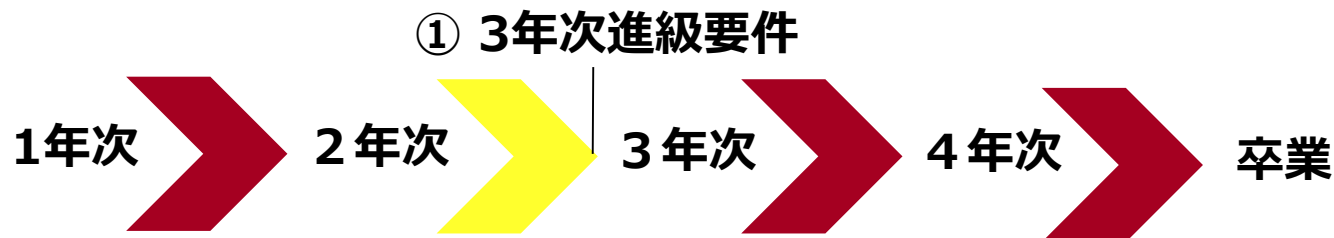
各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。

卒業要件 【履修制限について】

◀① 3年次進級要件▶

1年次及び2年次に配当されている授業科目を56単位以上修得していなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。

つまり、2年次をもう一度 = 4年間で卒業ができない = 卒業延期決定



卒業要件 【履修制限について】

◀② 卒業研究着手要件▶

3年次までに配当されている授業科目のうちから100単位以上を修得した者でなければ卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱを履修することができない。

卒業研究ⅠとⅡは4年次の必修科目

= 4年次には進級できるが、4年次の必修科目が履修できない

= 卒業延期決定

② 卒業研究着手要件



卒業要件

◀ ③ 芸術学部卒業要件 ▶

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

Check!!



授業科目区分	授業科目及び単位数	
専門科目	必修科目	56単位
	選択必修科目	18単位以上
	選択科目	26単位以上
基礎教育科目	18単位以上	
外国語科目	英語6単位以上	
合計	124単位以上	



選択必修科目は卒業までに
18単位以上必要



選択必修科目を**18単位以上**
修得した場合、多く修得した
単位は、選択科目に振り替え
られる

1年次



2年次



3年次



4年次



卒業

③ 卒業要件



KIU
教務部

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

授業時間割

配布している授業時間割表は3種類

- ① 「芸術学部（学科別）専門科目授業時間割表」 ※本日配布
- ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
- ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」

※ ②と③は全学共通

【授業時間割が変更になる場合】

- ①授業追加
- ②受講者数等の理由で教室変更
- ③担当者変更等

※K'sLifeで通知します！

授業時間割 【見方について】

芸術学部の授業時間割には、
期別（前期・後期）、専攻名、クラスコード、講義科目名、
担当者名・講義室を記載しています

前期 * = 必修科目 △ = 選択必修科目

期別	専攻名	学科	年次	専攻	月			
					1 9:00~10:40	2 11:00~12:40	3 13:40~15:20	4 15:40~
		芸術表現学科	1年次	絵画	△工芸デザイン基礎演習 【165】宮田雅他 18109 【166】太田他 18103	△工芸デザイン基礎演習 【167】宮田雅他 18109 【168】太田他 18103	【109】 □美術概論 井上友 15201	【177】 □立体造形 前田 45102
				立体造形			【162】 □絵画演習 川野正 1631	【177】 * 立体造形 前田 15102

クラスコード（【 】内にある3桁の数字）

講義科目名

担当者名

講義室

授業時間割 【見方について】

教室の見方

N 1 0 1 1号館 1階北側 1 0 1 教室
2 E 3 0 1 2号館 3階東側 3 0 1 教室
8 3 1 5 8号館 3階 8 3 1 5 教室
1 2 1 0 7 1 2号館 1階 1 2 1 0 7 教室
4 2 番 中央会館4階 4 2 番教室
パソコン教室1 中央会館4階 パソコン教室
パソコン演習室2 . . . 中央会館3階 パソコン演習室



履修ガイド+K` sLife利用ガイドにも
記載されています。

授業時間割 【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
 - 「Listening & Speaking I・II」
- 英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。



国語・数学の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。登録されている場合は、**必ず履修し、単位を修得**してください。

国語科目：「実用国語(文章力)」「人文科学の世界」
「実践クロス講座（応用国語）」

数学科目：「実用数学（計算力）」

履修登録について

「キャリア形成基礎論」
(基礎教育科目)

みなさんに履修してもらいたいキャリア科目で、前学期の時間割に既に履修登録がされています。役に立つ内容なので必ず出席してください。



その他、初回授業に出席しないと履修できない科目や、説明会が別途実施される科目などもあります。シラバスをしっかりと確認するようにしましょう。

また、**クラス分けされている必修科目**や、**人数制限のある科目**でそれが**必修科目の場合**、既に履修登録がされている場合があります。誤って取り消すと、自分では登録できないことがありますので、**取り消さないように注意**してください。

新規科目の紹介 【令和4年度からの科目】

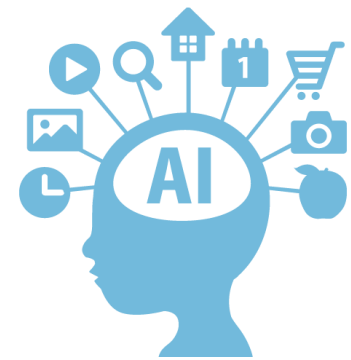
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材（ダイバーシティ）を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、
積極的な受講をおすすめします。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

履修登録【期間について】

●履修登録期間

2022年4月7日（木）10：00～4月9日（土）23：59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修すること。

●前学期履修変更期間

2022年4月11日（月）10：00～4月14日（木）23：59まで

●後学期履修変更期間

2022年9月8日（木）10：00～9月21日（水）23：59まで

※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。
- ③履修登録者数が多い場合、抽選を行うことがあります。

試験【定期試験・追試験】

前学期定期試験

2022年7月25日（月）～ 7月30日（土）まで

後学期定期試験

2023年1月16日（月）～ 1月21日（土）まで

○追試験

病気、その他やむを得ない事由で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。

（197ページ参照）

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月7日（木） 17:00～ S201教室

日本学生支援機構奨学金説明会

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

芸術表現学科・ビジュアルデザイン学科

日程：4月6日（水）16:30～17:00

場所：1号館2階 S201教室

**写真・映像メディア学科・生活環境デザイン学科・
ソーシャルデザイン学科**

日程：4月4日（月）12:30～13:00

場所：1号館2階 S201教室

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。

ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

教科書購入Webサイト

【日程】 Webサイト公開期間

4/1（金）～5/31（火）

【場所】 3号館8階教科書受渡所

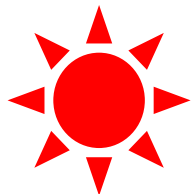
4/4（月）～4/28（木）

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。

チャレンジマンズ



100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、
インターンシップ参加など）

出席

[本学学生のデータ分析の結果]

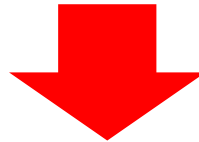


授業全体の出席率が
80%以下になると、
単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、
普段から授業にはきちんと**出席**すること！

三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率、GPA、修得単位数などが低い学生については、三者面談を実施。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には必ず出席すること！

本日以降のスケジュール

第1回「(学科名) 演習」 (学内ツアー)

本ガイダンス終了後、実施します。

各専攻に分かれて、芸術学部関連施設の
ツアーを行います。

ツアーの先導は、皆さんの先輩 (LA) が
行います。

分からないことがあれば
どんどん聞いてみてください！



本日以降のスケジュール

第2回「(学科名) 演習」 (履修相談会)

4月6日 (水) 14:30~16:10



学科	専攻	担当教員	新入生数 予想	教室
芸術表現	絵画専攻	南、ロバート、国本、濵枝	30	N504教室
	立体造形専攻	前田	10	N505教室
	メディア芸術専攻	黒岩、樞、羽太、趙	35	S502教室
写真・映像メディア	写真専攻	大日方	20	N501教室
	映像メディア専攻	佐野、星野、佐藤慈	35	N502教室
ビジュアルデザイン	グラフィックデザイン専攻	水間	30	S501教室
	イラストレーションデザイン専攻 (1クラス)	石橋	25	S503教室
	イラストレーションデザイン専攻 (2クラス)	田 (西川)	25	S504教室
生活環境デザイン	工芸デザイン専攻	新、高森	10	S506教室
	プロダクトデザイン専攻	青木	20	S507教室
	空間演出デザイン専攻	安齋、加来	40	S505教室
ソーシャルデザイン	情報デザイン専攻	井上貢	45	N503教室
	地域ブランド企画専攻			

本日以降のスケジュール

第3回「(学科名) 演習」 (先生との個別面談)

4月7日 (木)
13:00~14:40



学科	専攻	担当者	教室
芸術表現学科	絵画専攻	南	1631
		ロバート	
	国本		
	渡抜		
	立体造形専攻	前田	19106
メディア芸術専攻	メディア芸術専攻	黒岩	15201
		種	
		羽太	
		趙	
写真・映像メディア学科	写真専攻	大日方	15204
		荒巻	
	映像メディア専攻	佐藤慈	17307
		星野	
		佐野	
ビジュアルデザイン学科	グラフィックデザイン専攻	水間	17603
		柴村	
		坂本	
		藤田	
	イラストレーションデザイン専攻	石橋	GD・ILD共同 デザインアトリエ
		田(西川)	
生活環境デザイン学科	工芸デザイン専攻	新	18109
		高森	
	プロダクトデザイン専攻	青木	17804
	空間演出デザイン専攻	栗田	17702
		安齋	
		加来	17703
ソーシャルデザイン学科	情報デザイン専攻	井上真	15102
		岩田	
		永嶋	
	地域ブランド企画専攻	伊藤敬	
		井上友	
	釜堀		

教務課からのお願い

1. **電話**に出てください

「**092-673-5916**」は芸術学部担当からの大事な連絡です。教務課からの電話だと分かるように、**電話番号を登録してください。**また、電話があつたときは、必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。



2. 学籍情報を**更新**してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

3. わかないことは何でも**相談**してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

K's LifeやHPで随時情報を更新していますので、**必ず確認**するようにしてください。

大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。

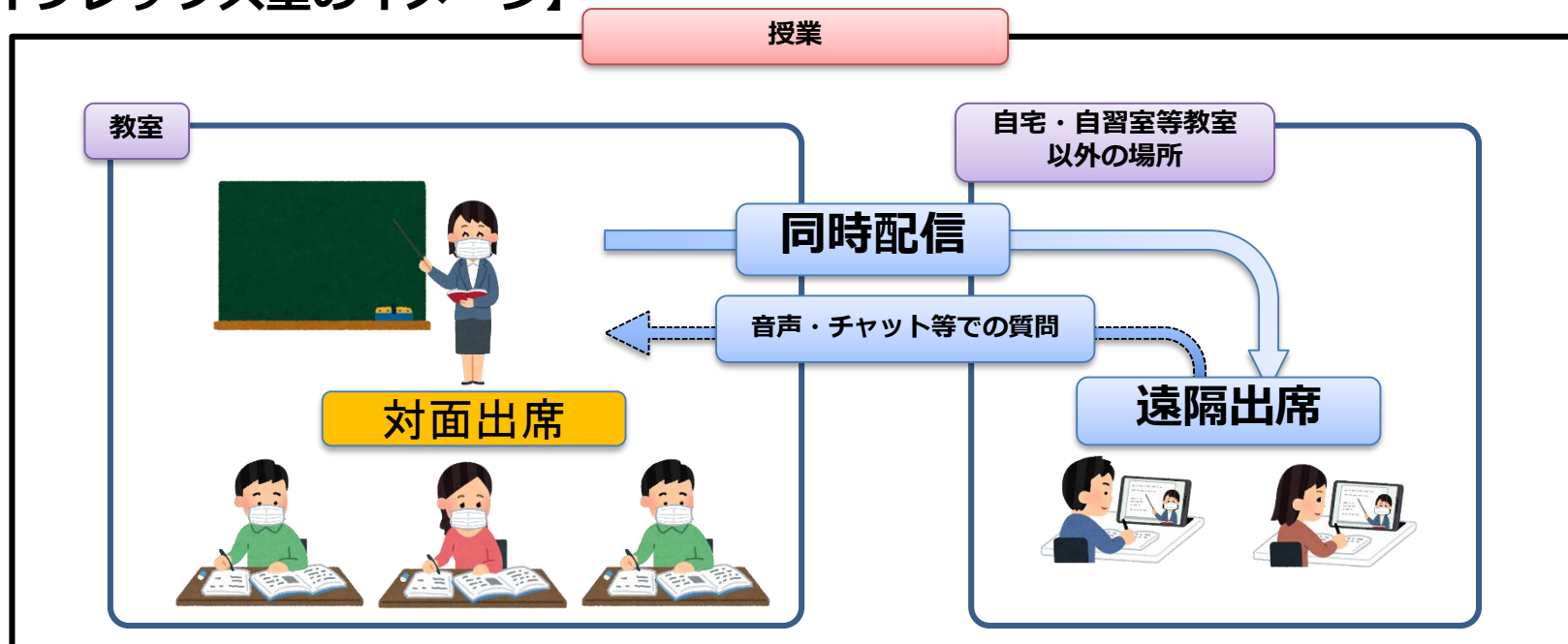


授業の実施方法【基本】

授業は、本学で定めている「新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動指針」のレベルに応じて実施します。レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

【ハイフレックス型のイメージ】

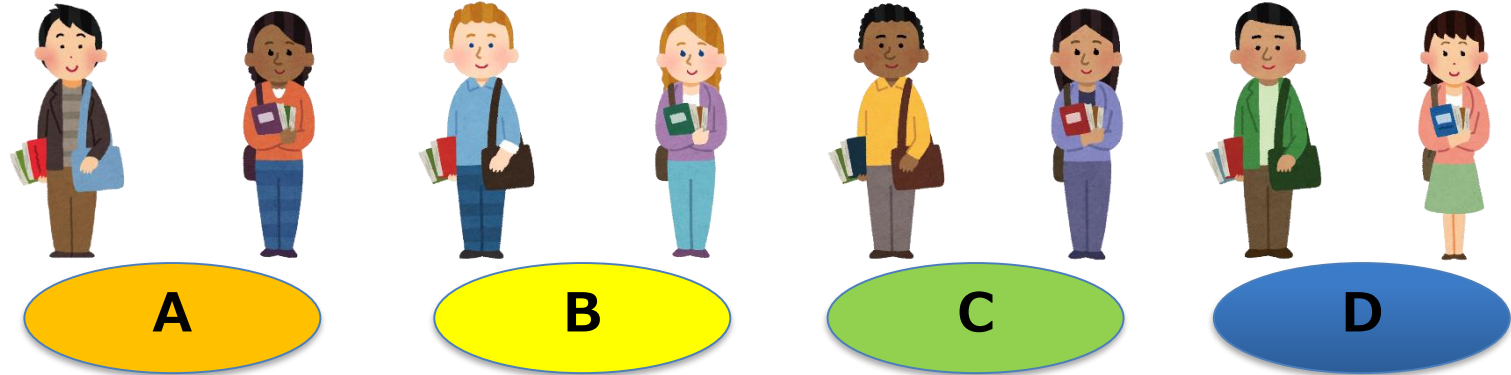


対面出席・遠隔出席の調整方法①

～グループ分け～

学生の皆さんの受講環境（対面出席と遠隔出席が同日に重ならない）に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA／B／C／Dの4グループに分けます。
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



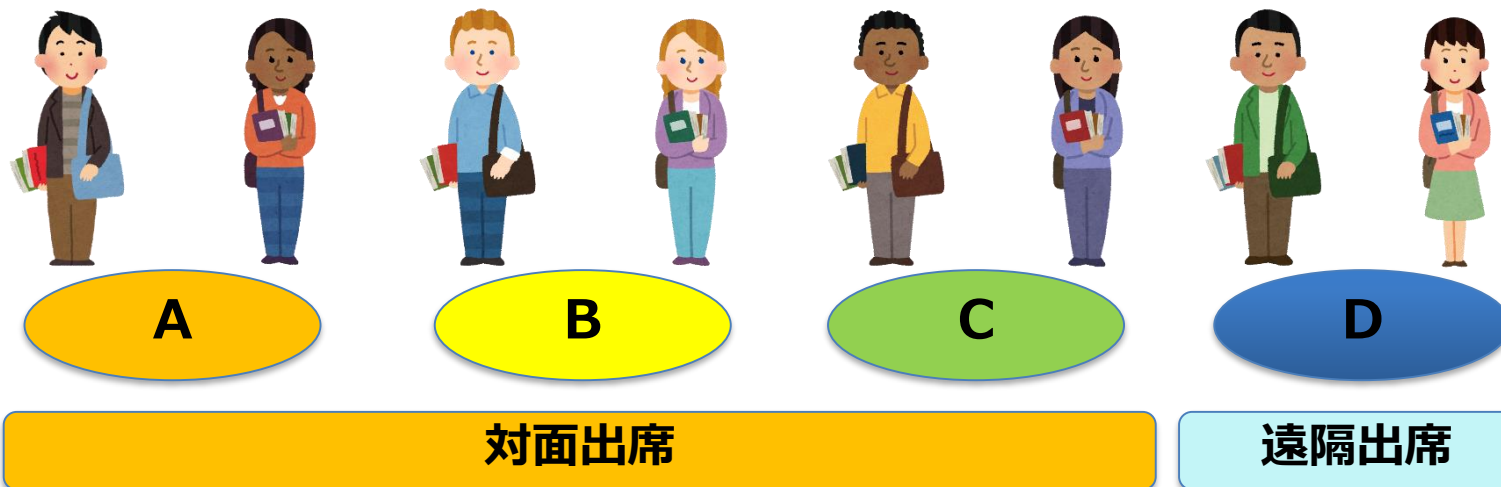
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているのので、確認してください。

対面出席・遠隔出席の調整方法②

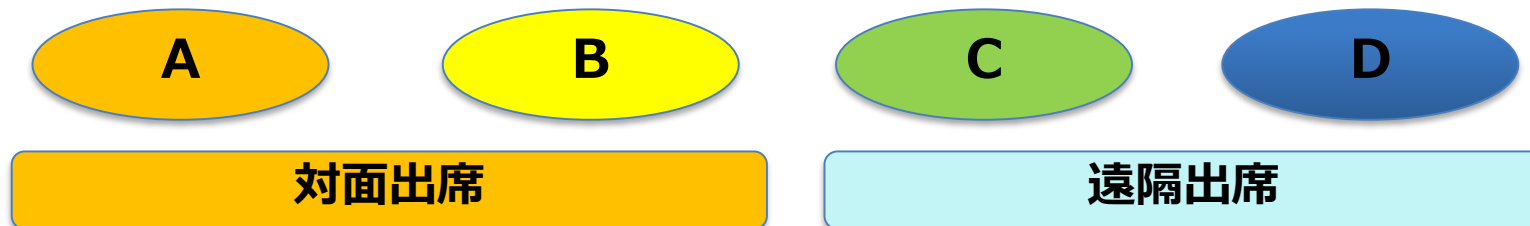
～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

令和4年(2022年)												
4 月												
日	月	火	水	木	金	土						
3	4	5	6	7	8	9						
					授業開始	補講日						
					CD	ABCD						
10	11	12	13	14	15	16						
							AB	CD	AB	CD	AB	
							①	①	①	①	②	★
17	18	19	20	21	22	23						
							CD	AB	CD	AB	CD	ABCD

※出席グループは、K's Lifeの通知及び大学HPで確認してください。

令和4年度前学期授業の実施方法について【芸術学部】

芸術学部専門科目

原則、対面

基礎教育科目

原則、
ハイフレックス型

外国語科目

語学教育研究
センター
オリエンテーション、
連絡通知等で確認

授業
実施
方針

上記は原則であり科目により **例外** があります！
K's Lifeの「授業連絡」を出校前に必ず確認してください。

学部学科、授業科目の特性に応じた対応

授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。



学部学科、授業科目の特性に応じた対応

例 「コンピュータ基礎演習」 (芸術学部12専攻開講)

前期時間割の金曜日2限と3限 ※プロダクトデザイン専攻は月4

隅田先生担当クラス：原則対面授業で実施

内林先生担当クラス：原則遠隔授業で実施

(初回は対面教室での授業ですが、2回目以降の授業はリアルタイムのビデオ会議で行います。)

詳しくは、初回の授業（初回はどちらも原則対面）で説明しますが、

対面授業希望の人は担当教員：隅田先生 のクラスを、
遠隔授業希望の人は担当教員：内林先生 のクラスを履修してください。

このような授業連絡がK's Lifeで届きます！



毎年人気の科目です。対面授業はPC台数で人数制限がありますので、履修を希望される場合はお早めに！

おつかれさまでした。

以上で「教務・教育ガイダンス」は終了します。

引き続き、学内ツアー（第1回「（学科名）演習」）を実施します。Campus Map（冊子）以外の荷物はバッグしまって、指示をお待ちください。

専攻別に集まって順番に出発しますので、専攻名で指示をします。自分の専攻名を確認し、アナウンスをしっかりと聞いてから、行動してください。